

2. 水道台帳情報システム

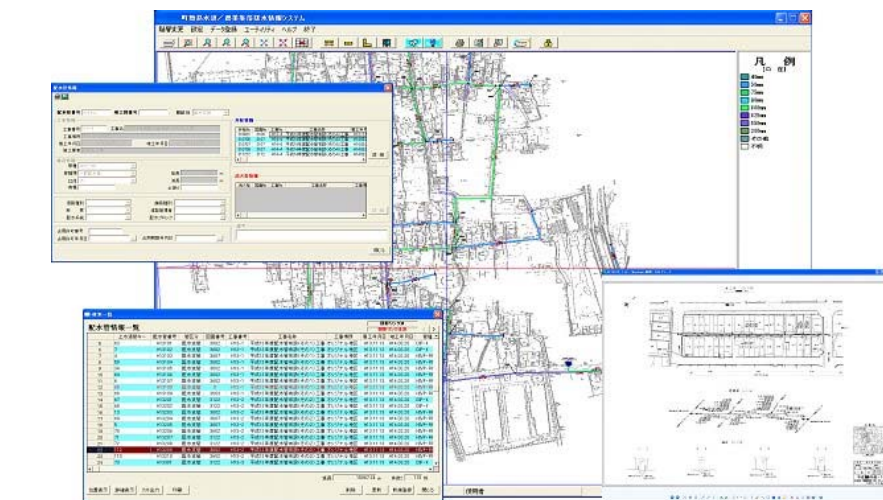
概要

水道施設の配水管・給水装置などの情報は、歴史が古く、また更新履歴などが最新情報に反映されていないケースが多く、担当者の高齢化などもあり、情報のデジタル化、データベース化の必要に迫られています。本システムの導入により、正確な施設情報の把握や住民サービスの向上を図るとともに、震災対策や水道アセットマネジメント導入などを支援できます。

業務実施のメリットや効果

- ① 配水管や給水装置の情報を地理情報として管理することにより、住民からの問合せに対して地図を用いた検索ができます。
- ② 住宅地図などのデータベースを活用し、住所や家屋名などによる検索もでき、地域住民に正確でスピーディーな情報を提供します。
- ③ タッチパネル閲覧システムによる便利で高度なサービスの提供も可能です。
- ④ 竣工図書や申請添付図面などの各種図面・図書データを、水道施設図形と関連付けてデータベース化することで、データの検索・参照が容易になります。
- ⑤ 保管スペースの確保や災害時のバックアップといった問題も解消します。図面データはイメージやCADデータなどを含め、ほぼ全ての形式に対応しています。

管路および付属施設の台帳データの一部は、断水検索機能や管網計算システムの基礎データとして転用可能です。データの正確性・効率性を維持するため、強力なデータ編集機能を有しており、現状業務の改善を含めたトータルなシステムを実現しています。



●施設情報の表示
地図上の施設をクリックすることで、データベースに登録されている各施設の詳細な属性情報や写真・図面情報の表示・印刷ができます。

●条件検索
データベースに登録・管理されている大量の施設の情報を、竣工年度、管種や口径などの条件で検索・集計します。また、検索結果を表計算ソフトに受け渡すこともできます。

●区域指定検索
距離や区域の指定や、自由な閉領域を指定しての施設検索ができます。

●調書出力・グラフ表示
年度別や区域別など各種の集計調書を作成・出力できます。また、集計条件を指定してのグラフ作成・表示ができます。



●登録・更新

配水管・付属施設等の図形・属性データを画面上で登録することができます。区間の更新といった既存のデータに関連する変更作業も簡単にできます。



●分布表示

管種や口径、また仕切弁の開閉などを色分け表示します。施設の分布状況の視覚的な把握を支援します。